



感染者数増加！

三重県を含め、全国的に新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加してきています。第8波に入ったともいわれています。学校では、「換気・手洗い（消毒）・間隔を可能な限りとり」といった基本的な感染防止対策を徹底していきます。ご家庭でも感染防止へのご協力をお願いします。また、体調が普段と違うなど感じたら、登校を控えていただき、できるだけ早く医療機関を受診していただくとともに、同居家族等が発熱等風邪の症状がある場合は、登校を見合わせていただきますようご協力をお願いします。

① 4年生社会見学

11月11日に4年生の社会見学を実施しました。まずは、鈴鹿警察署を見学しました。説明だけでなく、白バイやパトカーに乗る体験もさせていただきました。その後、鈴鹿市伝統産業会館で鈴鹿市の伝統産業である伊勢型紙と鈴鹿墨について学習しました。昼食をとった後、南部浄化センターで下水処理やその施設設備について学びました。天候にも恵まれ、有意義な社会見学となりました。



② めくたいフェスタ

一ノ宮地域には解放センター・人権教育センター・市民館など、差別をなくすことを目的とした施設が多くあります。学校ではいじめや差別をなくしていく子どもの育成をめざして、そうした施設を見学したりそこで働く人やその思い・願いに出会ったりする学習を行っています。

そうした施設と学校や関連団体が連帯して、いじめや差別をなくしていく人権啓発の取り組みをしていこうと始めたのが「めくたいフェスタ」です。今年は11月12日に解放センター・人権教育センターで開催されました。今回は19回目でした。

この「めくたいフェスタ」に向けて学校では、人権学習、缶バッチのデザインづくりやポスター制作、めくたい木の制作等を行いました。

フェスタ当日は、新型コロナウイルス感染症の影響で人数制限があり、学校からは5・6年生12名のみが代表として参加しました。市長・実行委員長の挨拶、缶バッチの表

彰の後、いよいよ5年生の登場です。5年生は、9月から続けてきている出会い学習（伊木さん・萩さん・田中さん・森本さん）の内容とその学習を通して学んだこと、ぬくたいフェスタに向けての学校全体の取組（ぬくたい言葉を集めた「ぬくたい木」の制作）について発表しました。振り返りの時に、他校の児童から「一ノ宮小の発表を聞いて、自分たちもやってみたいと思いました。」等肯定的な言葉を返してもらい、自分たちが取り組んできたことや学んできたことに自信がもてたのではないかと思います。

また6年生は、障がいがあるなしや年齢・性別等に関係なく、みんなが楽しめる遊びを準備し、遊びブースを担いました。多くの人に笑顔で参加してもらい、やってよかったなどいう達成感を味わうことができたようです。月曜日、朝登校指導をしていると、人数制限のため参加できなかった6年児童が、「土曜日うまくいったやろか。」と友だちと話しながら登校する姿に6年生全員で取り組んでくれていたんだと改めて嬉しくなりました。



ぬくたい言葉を集めた「ぬくたい木」

③ 市政80周年レガシー事業

鈴鹿市は令和4年12月1日に市政施行80周年を迎えます。80周年を迎えるにあたって、記念事業「みんなで創ろう！レガシー事業」が実施されてきています。市内の小中学校40校は、「SDGs」をテーマとした取組を行っています。

SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択されたものです。SDGsは、2016年から2030年の15年間で17のゴールを決め、それを達成するために掲げた国際目標です。

本校で従来から取り組んでいる人権学習や環境学習は、SDGsの17のゴールをめざした取組です。今年度はレガシー事業として、全校で①SDGsについて知ること②間伐材を利用したうちわに人権学習や環境学習で学んだことや自分に取り組んでいきたいことを文字や絵で表現することに取り組んでいます。（廃材の有効活用と温暖化防止）

各校の取組は、12月2日～16日に鈴鹿市役所本館1階市民ロビーに展示される予定です。



環境学習（4年生）



人権学習（5年生）



人権学習（6年生）